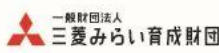


## 第11回 PDA 首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会 2024

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2024年11月17日(日) 12:00-16:30

公益財団法人  
Tazaki財団

会場：東京都立日比谷高等学校

参加校：9校(日比谷、都立西、三田、湘南、柏陽、県立千葉、船橋、浦和一女、県立浦和)

参加者：生徒62名、教員18名

スタッフ：PDAスタッフ、東京外国語大学、横浜国立大学、東京大学、PDA認定教育ジャッジ

昨年に引き続き対面での開催となった首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会。会場の東京都立日比谷高等学校に首都圏から9つの高校が一堂に会しました。開会式では、PDA代表理事の中川智皓から「今日は「知能」だけでなく、「知性」、他者に想いを馳せる力を磨いていってください。ディベート中はもちろん、休憩時間も他校の生徒の皆さんと温かい交流が生まれましたら嬉しく思います。」とメッセージが送られました。次に、東京都立日比谷高等学校の萩原校長先生より、「この首都圏交流大会も11回目になりました。場所をうまく活用しながら切磋琢磨して頑張ってください。」とご挨拶いただきました。また、東京都立西高等学校の土方校長先生より、「論破ではなく相手のことを考えることが良いところだと思います。他校の生徒共に切磋琢磨して頑張ってください。」とご挨拶いただきました。続いて千葉県立千葉高等学校の高梨校長先生より、「相手の主張をしっかりと理解した上で噛み合った議論をすることは大人でも難しいことだと思います。9校も集まる貴重な機会を大切に楽しんでください。」とエールをいただきました。その後、参加校の紹介、トロフィー返還式、ルールの確認などが行われました。特に、POI (Point of Information) は、相手のスピーチに対して繰り返しを要求したり、反論の布石となる質問をしたりすることができ、議論を深めるために重要であるため、POIのポーズを全員で練習しました。



日比谷・萩原校長先生ご挨拶



都立西・土方校長先生ご挨拶



千葉・高梨校長先生ご挨拶



ルールの確認



POIの練習

1位から3位に送られる  
トロフィー

第1ラウンドのお題は “The school rules regarding hairstyles and makeup should be abolished. (髪型や化

粧に関する校則を廃止すべきだ。)” でした。肯定側は「選択の自由と将来化粧をする必要性がある」という懸念点について説明し、否定側は「勉強への集中が削がれること」や金銭面の懸念などについて説明しました。また、POI (Point of Information : ディベート中の質疑応答) も活発に行われ、疑問に感じた点などがあればすかさずPOIを通して確認したり、議論を深めたりしました。

ディベートが終わり、対戦チームと握手を交わしたあとは、「どんな校則がありますか？」など、論題に関わる事柄から普段の英語学習やディベートの練習などについて会話し、交流を深めました。英語での交流も活発に行われました。交流後はジャッジからのフィードバックの時間です。テーブルごとにジャッジから勝敗や個人フィードバックが伝えられました。PDA のディベートでは、個人フィードバックの際に一人一人によかった点と次に向けた改善点が1点ずつ伝えられます。生徒は次のラウンドに向けて少しでも多くのものを吸収しようとジャッジのコメントに真剣に耳を傾けました。



準備時間の様子 (船橋)



準備時間の様子 (浦和)



準備時間の様子 (湘南)



日比谷高校 VS 県立浦和高校



船橋高校 VS 湘南高校



三田高校 VS 千葉高校



都立西高校 VS 浦和一女高校



Swing VS 柏陽高校



POI !



POI で質疑応答



POI !!



ディベート後の握手



ディベート後の握手



ジャッジからフィードバック



交流を深めます



交流タイム



意見交換タイム



仲を深めます

続く第2ラウンドのお題は、“**Japan should increase the number of immigrants.** (日本は移民を増やすべきである。)”でした。移民がどのようなところで働いているのか具体的に挙げながら、労働人口の補い方として適切かどうかについて議論し、文化が衰退する可能性などについても意見を交わしました。



準備時間の様子 (千葉)



準備時間の様子 (都立西)



POI で議論を深めます



三田高校 VS 日比谷高校



Swing VS 県立船橋高校



湘南高校 VS 県立浦和



千葉高校 VS 都立西高校



健闘をたたえ合います



試合後の握手



お互いを称えて



真剣にジャッジのコメントを聞きます

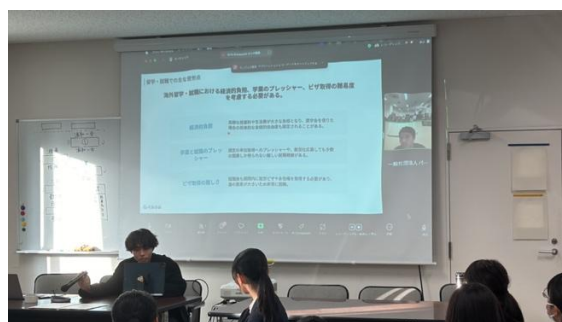


ジャッジの言葉に集中

第2ラウンドを終えると、エキシビジョンディベートでディベートをする、「ジャッジが高く評価した代表生徒6名」が発表されました。自身や友人の名前がスクリーンに映し出されると喜びの拍手が送られました。エキシビジョンディベートの前に、論題に関するレクチャーが行われました。日比谷高校ご出身（2012卒）で UC Berkeley に進学し、現在はシリコンバレーにて AI 系のスタートアップでご勤務されている小林聡汰さんより、海外に進学することのメリット・デメリットを実体験とともにお話いただきました。海外での学習に関心のある高校生たちは、辛さを聞くことで、より具体的に自身が留学する姿をイメージしながら熱心に説明を受けました。



選出を祝う様子（柏陽）



小林聡汰さんによる講演

そしていよいよエキシビジョンディベートが始まりました。論題は “High school students should aim to attend universities in English-speaking countries rather than universities in Japan. (高校生は、日本の大学

よりも英語圏の大学に進学することを目指すべきだ。)”でした。肯定側は英語圏の大学における教育の質や専門性の高さについて言及し、否定側は経済的負担について主張しました。どちらのチームもその後のキャリアについて考えながら議論を深めました。POIも飛び交い、白熱した議論となりましたが、ディベートを見学していた生徒・教員の挙手投票により、僅差で肯定側が勝利しました。見学していた生徒は、「自分との違いに気づくことができ、学びになりました。」とコメントし、エキシビションに選ばれた生徒は、「他校の生徒と一緒にチームとなってディベートをすることが面白く、学びになりました。」とコメントしました。



エキシビションでも積極的に POI に挑戦



POI !!!



質疑応答で議論を深めます



質疑応答の様子



認定教育ジャッジの教員による進行



試合後の握手の様子



エキシビションの感想



オーディエンスによる感想

閉会式では、はじめに表彰式が行われ、校長先生から賞状を受け取り、今後の学習のモチベーションを上げました。次に、PDA ディベート推進委員長の大賀より、「相手の話を聞いてから返答するというスタイルが出来上がっていて、レベルが高いと感じました。ディベートをすることで、論理を活性化し、相手を慮ることを今後の生活の中で活かしてほしいです。」とメッセージが送られました。続いて、千葉県立船橋高等学校の風戸校長先生より、「今回の論題は普段よく考える身近なことから世界的な規模のものまで幅広いものでした。制度等わからないことがあるような論題に対して、どのように作戦を立て、短時間で対応し、端的に伝えることがよくできており、語彙にも勢いを感じるレベルの高いディベートでした。今後も交流を深めてください。」と労いのお言葉が送られました。続いて、神奈川県立湘南高等学校の島副校長先生より、「初めて PDA のイベントを見ましたが、想像以上のものでした。皆さんの流暢さ、発音、情熱に驚かされました。今後も論理性を高め、自身の将来や第 12 回の首都圏交流大会に活かしてください。」と英語でメッセージが送られました。最後に、神奈川県立柏陽高等学校の野沢校長先生より、「参加した皆さんで雰囲気の良い大会を作り上げることがで

きて嬉しいです。年に複数回開催してもいいのではないかと思います。貴重な交流の場なので、ぜひ成長の糧としていただきたいです。」とエールが送られました。



大賀推進委員長によるご講評



船橋・風戸校長先生ご講評



湘南・島副校長先生ご講評



柏陽・野沢校長先生ご講評



集合写真

## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・PM 東京都立日比谷高等学校 \_\_\_\_\_さん
- ・LO 神奈川県立柏陽高等学校 \_\_\_\_\_さん
- ・MG 神奈川県立湘南高等学校 \_\_\_\_\_さん
- ・MO 東京都立三田高等学校 \_\_\_\_\_さん
- ・LOR 埼玉県立浦和第一女子高等学校 \_\_\_\_\_さん
- ・PMR 千葉県立船橋高等学校 \_\_\_\_\_さん



エキシビジョンディベータ賞

### 〈チーム賞〉

- 1位 神奈川県立柏陽高等学校
- 2位 東京都立三田高等学校
- 3位 神奈川県立湘南高等学校
- 4位 埼玉県立浦和第一女子高等学校
- 5位 東京都立日比谷高等学校



1位 柏陽高校



2位 三田高校



3位 湘南高校



4位 浦和第一女子高校



5位 日比谷高校

## 〈ベストディベーター賞〉★は2回選ばれた生徒

- \_\_\_\_\_ (日比谷) ★
- \_\_\_\_\_ (三田) ★
- \_\_\_\_\_ (柏陽) ★
- \_\_\_\_\_ (湘南) ★
- \_\_\_\_\_ (日比谷)
- \_\_\_\_\_ (千葉)
- \_\_\_\_\_ (県船)
- \_\_\_\_\_ (県船)
- \_\_\_\_\_ (浦和一女)



## 〈ベスト POI 賞〉★は2回選ばれた生徒

- \_\_\_\_\_ (日比谷) ★
- \_\_\_\_\_ (三田) ★
- \_\_\_\_\_ (県立浦和)
- \_\_\_\_\_ (千葉)
- \_\_\_\_\_ (柏陽)
- \_\_\_\_\_ (柏陽)
- \_\_\_\_\_ (湘南)
- \_\_\_\_\_ (湘南)
- \_\_\_\_\_ (県船)



## 参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・他校のディベートだけでなく、ディベート後のジャッジ・講評など全てから、自分にも活かせることを沢山見つけることができ、とても有意義な時間になりました。(浦和第一女子)
- ・初めて他校の英語部と実際に交流してみて、学ぶことがたくさんありました。自分の英語学習への大きな刺激にもなったので、今日の経験を元にもっと自分の英語力を磨いていきたいと思います。(浦和第一女子)
- ・論理をきちんと立てて、流れを整理して話すことの大切さを知れた。(浦和第一女子)
- ・アドバイスいっぱい貰えて、これからも精進しようと思いました。(千葉)
- ・普段の活動では、勝敗を決めたり個々のコメントをもらうことはないのですが、ジャッジの先生方からそういったことを行っていただけのはとてもためになりました。ありがとうございました！(千葉)
- ・レベルと高い人と対戦できて、とても勉強になりました。(船橋)
- ・難しかったけど、他校の方と交流できてとても楽しかったです、貴重な経験だったと思います。(船橋)
- ・今までは zoom でやるが多かったので、対面は新鮮で面白かったです。(湘南)
- ・普段とは違う相手に刺激的だった。色々なジャッジのコメントが聞けて頑張ろうと思った。(湘南)



- ・去年からの成長を感じられた。英語力だけではなく、論理思考力も伸びた気がした。(三田)
- ・練習の成果を発揮することができました。(三田)
- ・他校の生徒たちのレベルの高さに圧倒された。(都立西)
- ・刺激を受け、英語をもっと頑張りたいと感じた。(都立西)
- ・色々な高校のディベートの現状把握が出来て良かった！いい経験になった。(日比谷)
- ・他校の英語が私と比べ物にならないぐらい発展していて驚愕し頑張ろうと思えた。(浦和)
- ・今回の交流会はディベートをよりよく、論理的にするための有意義な機会となった。このような会に参加できて非常に良かったと思う。(浦和)
- ・他校と交流することで様々な見方や考え方を知ることが出来たのでとても面白かったです(浦和)
- ・全体的に堅苦しい雰囲気がなく進行もフランクなおかげでみんな楽しく話してくれた。(浦和)
- ・自分だけでは考えられなかった視点について、たくさん学ぶことができた。対面での開催ということもあり、他校の生徒と交流することができて良かったと思いました。(柏陽)
- ・自分のディベートスキルの発展につながった。(柏陽)
- ・熱気がありそれでいて友好的で良かった。(教員)
- ・他県のライバルたちと対面で競えるのは大変貴重な経験になったと思います。(教員)
- ・企画、運営ありがとうございました。公立高校同士でこのように切磋琢磨できる環境が、日本の英語教育全体のレベルアップという観点で、重要だと思います。今後、開催回数を増やしてくださるのであれば、是非ZOOM等でもできたらいいなと思いました。その際はジャッジ等で是非協力させていただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いします。(教員)

